

1章 式の計算
1-1 式の計算

文字を使うことの良さについて考えてみよう

🔗 考えてみよう



< 課 題 >

赤道のまわりに、地表から1m離してつくった世界一周道路と赤道の長さの差について考えてみましょう。

予想してみよう

(問い) 世界一周道路と赤道の長さの差はどのくらいなのか、教科書P13の①～⑤から選び、予想してみましょう。 _____ にあなたの予想と理由を記入してね。

わたしの予想は _____ です。理由は、 _____ からです。

チャレンジ！！

(問い) 地球の半径は約6,378,000mです。世界一周道路と赤道との差を実際に求めてみましょう。下の□に式(考え方)と答えを書きましょう。

式 (考え方)

1 - 1 - 1 式の加法、減法

単項式や多項式などの用語の意味について
まとめ、理解しよう。

◇ 単項式と多項式 ◇

どうなるかな?

(問い)教科書P15のどうなるかなの問題を考え、
下の(1)~(5)の_____に答えを書きましょう。

(1) の答え _____ Kg

(2) の答え _____ cm³

(3) の答え _____ cm³

(4) の答え _____ 円

(5) の答え _____ 円



上の(1)~(5)の式をグループ分けすると...

(問い)下の□の文章の_____にあてはまる言葉を教科書P15を参考にして書きなさい。

まとめ

☆ (1) ~ (3) の答えの式のように、**数や文字の_____**だけでできている式を
_____という。

☆ (4)、(5) の答えの式のように、**単項式の_____**で表された式を_____
といい、**式をつくる1つ1つの単項式**をその式の_____という。

(問い)下の<例1>の_____にあてはまるものを書きなさい。

< 例 1 > 多項式の項

$4x^2 - 5x + 3$ は、 $4x^2 + (-5x) + 1$ と単項式の和の形で表すことができる。つまり、
多項式 $4x^2 - 5x + 3$ の項は、_____となります。

※式の項が**数と文字の積**であるとき、その数が文字の**係数**となります。

上の<例1>の式で、 x^2 の係数は4で、 x の係数は_____である。

◇ 次 数 ◇

(問い) 下の_____にあてはまるものを教科書P15を参考にして書きなさい。

単項式で、**かけあわされている_____の個数**をその式の_____という。

< 例 > $5x$ は $5 \times x$ となり、かけあわされている文字が**1個**なので、**次数1**です。

$6x^2$ は $6 \times x \times x$ となり、かけあわされている文字が_____個なので、**次数は_____**です。

(問い) 問題練習用プリント (NO.1) の1、2の問題を解きましょう。